

<公開シンポジウムのご案内>

ゴルフ場緑地の地域環境的価値と最適管理を考える

ゴルフ場は、プレーを楽しむ人々に望ましい芝生と修景を提供する目的で整備・運営されてきた施設ですが、環境保全の視点からみれば、維持管理の整った芝地、樹林、そして溪流や池沼からなる質のよい広域緑地でもあります。とくに昨今の異常気象ならびに低水準の管理による緑地機能の広範な衰退と劣化が著しいなかであって、地域社会への健全な緑地環境と生態系サービスを提供する社会資産として、その価値は再認識・再評価することは、ゴルフ場、地域社会双方にとって大変重要と考えられます。

このように環境保全上高いポテンシャルをもち、また今日ゴルフ自体が大衆的スポーツになっているにもかかわらず、残念なことにゴルフ場に対しては、いまだに実態にそぐわない規制や見解が存在するのも事実です。しかし、この問題は、ゴルフ場自体が芝地、樹林地、池沼等からなる広域緑地の意義とその保全責任を認識し、地域社会と連携して健全な緑地維持に主体的役割を果たしてこそ解決されるでしょう。このシンポジウムは、そのために必要な取り組みとは何かについて、関係者が集合して考え議論する場として企画しました。とりわけ重要な基本的課題として、次の3点に焦点を当て検討して行きたいと思えます。

- 1) 生態系サービス・生物多様性からみたゴルフ場緑地の評価について
- 2) 地域の緑地管理技術集団育成におけるゴルフ場人的資源の活用について
- 3) 長期的・科学的視野に立ったゴルフ場植生の最適管理について

ゴルフ場および地域環境保全の関係者各位のご参加を、心よりお待ち申し上げます。

<日 時> 平成26年11月26日(水) 13時~16時30分

<場 所> ウィンクあいち1001号室(アクセスについては裏面参照)

<プログラム>

講 演

◇ **ゴルフ場の緑地環境的評価とその長期管理**

伊藤幹二 (NPO 法人緑地雑草科学研究所)

◇ **意外と知られないゴルフ場の森の秘密 (仮題)**

田中淳夫 (森林ジャーナリスト)

◇ **ゴルフ場雑草問題の実態と対策：地域環境の視点から**

伊藤操子 (京都大学名誉教授)

パネルディスカッション

地域環境保全から見たゴルフ場の自然資源と人的資源

<参加費> 2,000円(講演要旨代)

<参加申込み> 次頁の[参加申込み](#)にご記入の上、主催者あてお申し込みください。
会場の都合により、先着120名様までとさせていただきます。

主催：特定非営利活動法人緑地雑草科学研究所

共催：特定非営利活動法人日本芝草研究開発機構

シンポジウム運営委員会

伊藤幹二（NPO 法人緑地雑草科学研究所）

佐治健介（株式会社白崎コーポレーション）

伊藤操子（京都大学名誉教授）

清水 等（株式会社理研グリーン）

神田 功（NPO 法人日本芝草研究開発機構）

宮崎敏治（株式会社アセント）[○]

小林由幸（株式会社ロイヤル・グリーン・メンテナンス） 八木 元（NPO 法人緑地雑草科学研究所）

（○：運営委員長）

会場へのアクセス



〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅 4 丁目 4-38

ウインク愛知（愛知県産業労働センター）1001 号室

◎ JR 名古屋駅桜通口から徒歩 5 分

詳細は <http://www.winc-aichi.jp/access/> よりご確認ください。

参加申込み

（氏名・TELは必須）

フリガナ 氏名			
フリガナ 所属/団体名			
住所	〒		
TEL		FAX	
E-mail			

FAX：0778-62-3336、お電話：0778-62-2543、

または E-mail：k-saji@bousou-ken.org にて、

緑地雑草科学研究所事務局（担当：佐治）までお申し込み下さい。

定員に達し次第締め切りとし、参加不可能な場合にはご連絡申し上げます。

※参加費（要旨代 2,000 円、会員は無料）は当日に会場受付にてお支払い下さい。